

(別記)

令和元年度西春日井地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合がほとんどで他の作物への転換は進んでいない。

しかし、主食用米の需要が減少する中で、飼料用米や地域振興作物の作付けへの転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稻作付面積の維持が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底により米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(2) 非主食用米（飼料用米）

主食用米の需要減が見込まれる中、当地域では大豆等の栽培は適さないので、産地交付金を活用し、飼料用米を有効な転作作物として推進する。飼料用米の生産拡大にあたっては、コンタミ防止のために主に主食用品種での対応とする。

(3) 麦

需要に応じた米生産を推進するためには、転換作物として有用で実需者からもニーズが高い麦類を推進する。

(4) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金を活用し、野菜の作付けを推進し、生産数量目標を達成するとともに、耕作放棄地の拡大を防ぎ、水田機能の維持を図る。

(5) 不作付地の解消

不作付水田に野菜等の作付を推進する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	264.0	260.0	260.0
飼料用米	0.0	0.1	0.5
米粉用米	0.0	0.0	0.0

新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0
加工用米	0.0	0.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0
麦	1.0	0.8	1.5
大豆	0.0	0.0	0.0
飼料作物	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0
その他地域振興作物	0.0	0.08	0.5
野菜	0.0	0.08	0.5

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	飼料用米	飼料用米の新規取組	新規取組面積	（30年度）0.0ha	（2年度）0.5ha
2	小麦	小麦の新規取組	新規取組面積	（30年度）1.0ha	（2年度）1.5ha
3	野菜	高収益作物の作付	作付面積	（30年度）0.0ha	（2年度）0.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり